

「めざせゴール！」

(第二十五回)

2002 FIFAワールドカップがもうすぐ始まる。今回の大会は日韓共催という史上初のスタイルだ。全国各地では外国チームを迎え、マスコミも大いに盛り上がってきた。

日本のサッカーで、歴史に残るものを記してみよう。

1936年のベルリン大会でスウェーデンを破った「ベルリンの奇跡」、釜本邦茂の活躍による1968年メキシコ五輪の銅メダル、1993年ロスタムにイラクと引き分けた「ドーハの悲劇」、1996年にブラジルを破った「マイアミの奇跡」などが思い出される。

さて、サッカーの世界的な人気を、私は肌で感じたことがある。ちょうどワールドカップの時期にフランスのニースを訪れた

ときのこと。ホテルも町中もサッカー一色。現地人も旅行者も関係なし、朝から晩までサッカー談義で沸き返っている。やはり最もポピュラーなスポーツなのだ実感したのであった。

健康のススメ

板東 浩

訪仏の目的は、第9回国際内分泌学会で発表するためだった。分

厚いプログラムを受け取ったときにハタと気がついた。専門用語で恐縮だが、表紙に Ninth International Congress of Endocrinology と印刷してある。

頭文字がニース(NIC-E)になっている。すごい気のきいた洒落なユーモアだ。この酒落に負けないように、カタカナで対戦してみる。

「ワイルドな

ループシュートは

ドラマチック

ガードも堅く

プレイしようぜ」

(医学博士・内科医師)